

BNYメロン・ リアル・リターン・ファンド

Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

SBI証券

株式会社SBI証券
金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第44号
加入協会：日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

■ 設定・運用は



BNY MELLON

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第406号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

- 主として世界の株式、債券、通貨等を実質的な投資対象とし、様々な投資環境に柔軟に対応しながら中長期的に米ドルベースで絶対収益の追求*1を目指して運用を行います。

*1 絶対収益の追求とは、市場の変動に左右されないで収益を追求することを目的とした運用を目指すことで、必ず収益を得ることができる運用という意味ではありません。

実質的な運用は、アイルランド籍外国投資信託である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(USD Xクラス)」を通じて行います。

- Aコース(為替ヘッジあり)とBコース(為替ヘッジなし)の2つのコースからお選びいただけます。
Aコース(為替ヘッジあり)は、原則として米ドルに対して為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
Bコース(為替ヘッジなし)は、原則として為替ヘッジを行いません。

- 実質的な運用は、BNYメロン・グループ傘下の資産運用会社である、「ニュートン・インベストメント・マネジメント・リミテッド(以下、ニュートン)」が行います。

ニュートン・リアル・リターン戦略*2の運用資産残高は、約1兆6,000億円*3(2013年9月末)です。

*2 ニュートン・リアル・リターン戦略は、当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いた運用戦略です。
ニュートン・リアル・リターン戦略の詳細については、P10「ニュートンの「リアル・リターン戦略」とは」をご参照下さい。

*3 上記運用資産残高はニュートン・リアル・リターン戦略で運用するドル建て、ユーロ建て、ポンド建てファンド等の合計です。

ファンドのリスク①

当ファンドは、国内外の投資信託証券を主要投資対象としていますので、投資する投資信託証券の基準価額の変動により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。

預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

価格変動リスク	投資信託証券を通じて投資を行う株式、債券等の価格動向は、個々の企業の活動や国内および国際的な政治・経済情勢の影響を受けます。そのため、当ファンドの投資成果は、組入れ投資信託の価格変動があった場合、元本欠損を含む重大な損失が生じる場合があります。
金利変動リスク	債券等は、市場金利の変動により価格が変動します。一般に金利低下時には価格が上昇し、逆に金利上昇時には価格が下落する傾向があります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行の条件等により異なります。
信用リスク	株式、債券等の価格は、発行体の信用リスクを伴います。発行体に経営不安、財務状況の悪化等が生じた場合、またはそれらが予想される場合には、価格が下落するリスクがあります。
商品市況変動リスク	商品市況は、対象となる商品の需給、貿易動向、天候、商品産出地域の政治・経済情勢、疫病の発生等の要因により変動します。このため、商品の動向を表す各種商品指標も商品市況の変動の影響を受けます。さらに、先物を対象とした先物等の市場では、流動性の不足、投機的参加者の参入、規制当局による規制や介入等により、一時的に偏りや混乱を生じることがあります。これらの要因により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
リート(不動産投信)の価格変動リスク	リートは、不動産市況の動向、保有不動産の状況や不動産の収益、財務内容の変動や市場金利の変動、リートに関する法制度の変更等により価格が変動します。これらの要因により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
カントリー・リスク	新興国に投資する場合、投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資金凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)などにより、運用上予期しない制約を受ける可能性があります。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。加えて、税制においても先進国と異なる場合があり、一方的に税制が変更されることもあります。以上のような要因は、ファンドの価値を大幅に変動または下落させる可能性があります。

ファンドのリスク②

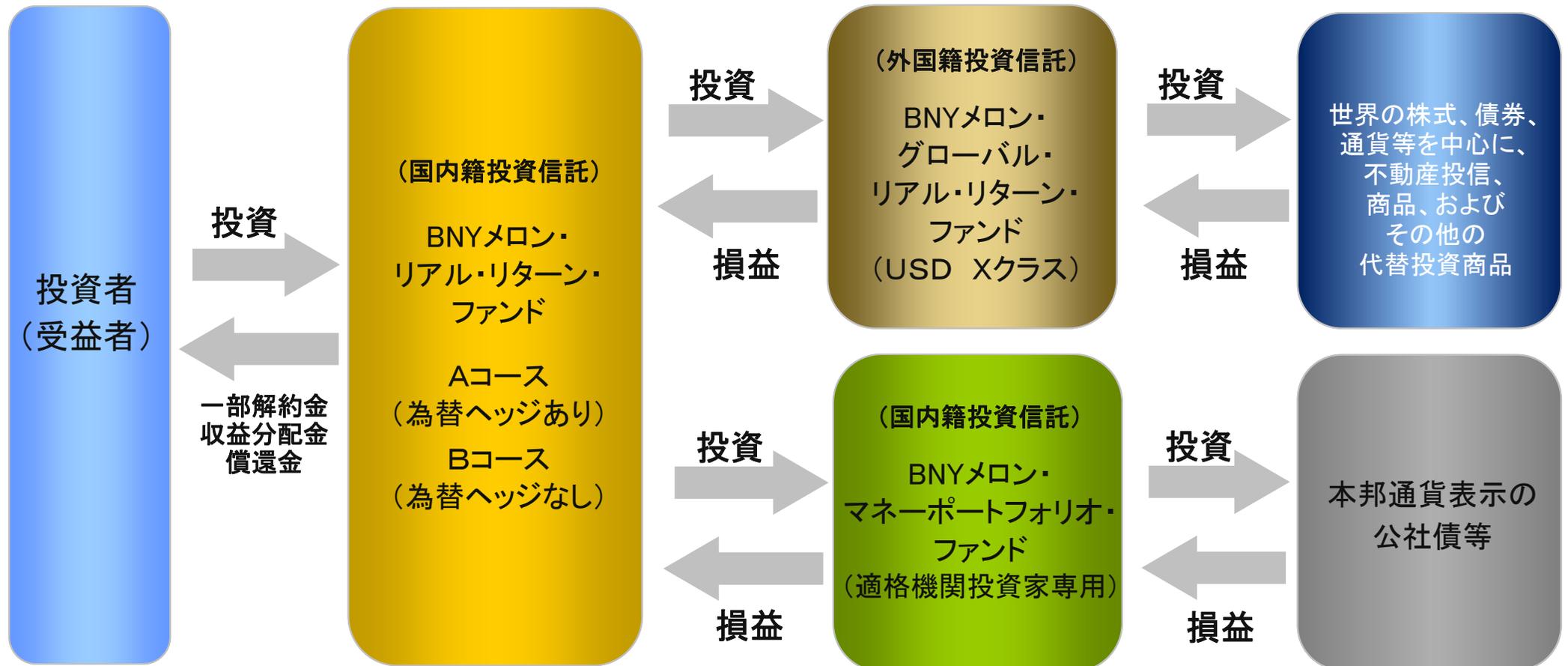
流動性リスク	流動性リスクは、有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、買い需要がなく希望する時期に希望する価格で売却することが不可能となることあるいは売り供給がなく希望する時期に希望する価格で購入することが不可能となること等のリスクのことをいいます。流動性リスクが小さい資産とは、注文執行後、希望価格で売却可能な資産のことをいいます。市場規模や取引量が小さい市場に投資する場合、また市場環境の急変等があった場合、流動性の状況によって期待される価格で売買できないことがあり基準価額の変動要因となります。特に、新興市場の銘柄は、一般的に流動性が低く、価格変動も高い傾向があります。
デリバティブ取引のリスク	当ファンドの投資対象ファンドは、有価証券および金利関連のデリバティブに投資することがあります。デリバティブの運用には、ヘッジする商品とヘッジされるべき資産との間の相関性や流動性を欠く可能性、証拠金を積むことによるリスク等様々なリスクが伴います。実際の価格変動が見通しと異なった場合に、ファンドが損失を被るリスクを伴います。
為替変動リスク	<p>為替変動リスクは、外国為替相場の変動により外貨建資産の価額が変動するリスクのことをいいます。</p> <p>[Aコース(為替ヘッジあり)] 主要投資対象である米ドル建ての外国投資信託については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、外国投資信託の資産の内容によっては、米ドル以外の通貨と米ドルとの間で為替変動の影響を受ける場合があるなど、為替リスクを完全に排除できるものではありません。また、ヘッジコストの分だけ収益が低下することがあります。為替ヘッジの相手方が複数(ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロンを含みますが、これに限りません。)となることがあります。</p> <p>[Bコース(為替ヘッジなし)] 主要投資対象である米ドル建ての外国投資信託については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、当該通貨と円の為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。当該資産の通貨に対して円高になった場合にはファンドの基準価額が値下がりする要因となります。</p>

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点	
クーリング・オフ	当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
収益分配金にかかる留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収益分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間中におけるファンドの収益率を示すものではありません。 ・ 受益者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。 ・ 収益分配金は、ファンドの純資産から支払われますので、収益分配金の支払後の純資産は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に収益分配金の支払を行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比較して下落することになります。

ファンドの仕組み

当ファンドは、投資信託を投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。ファンド・オブ・ファンズとは、受益者からの資金を当ファンド「BNYメロン・リアル・リターン・ファンド Aコース(為替ヘッジあり)、Bコース(為替ヘッジなし)」にて取りまとめ、その資金を投資対象である投資信託「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(USD Xクラス)」および「BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)」に投資をし、実質的な運用を各投資信託で行う仕組みです。



「ニュートン・リアル・リターン戦略」

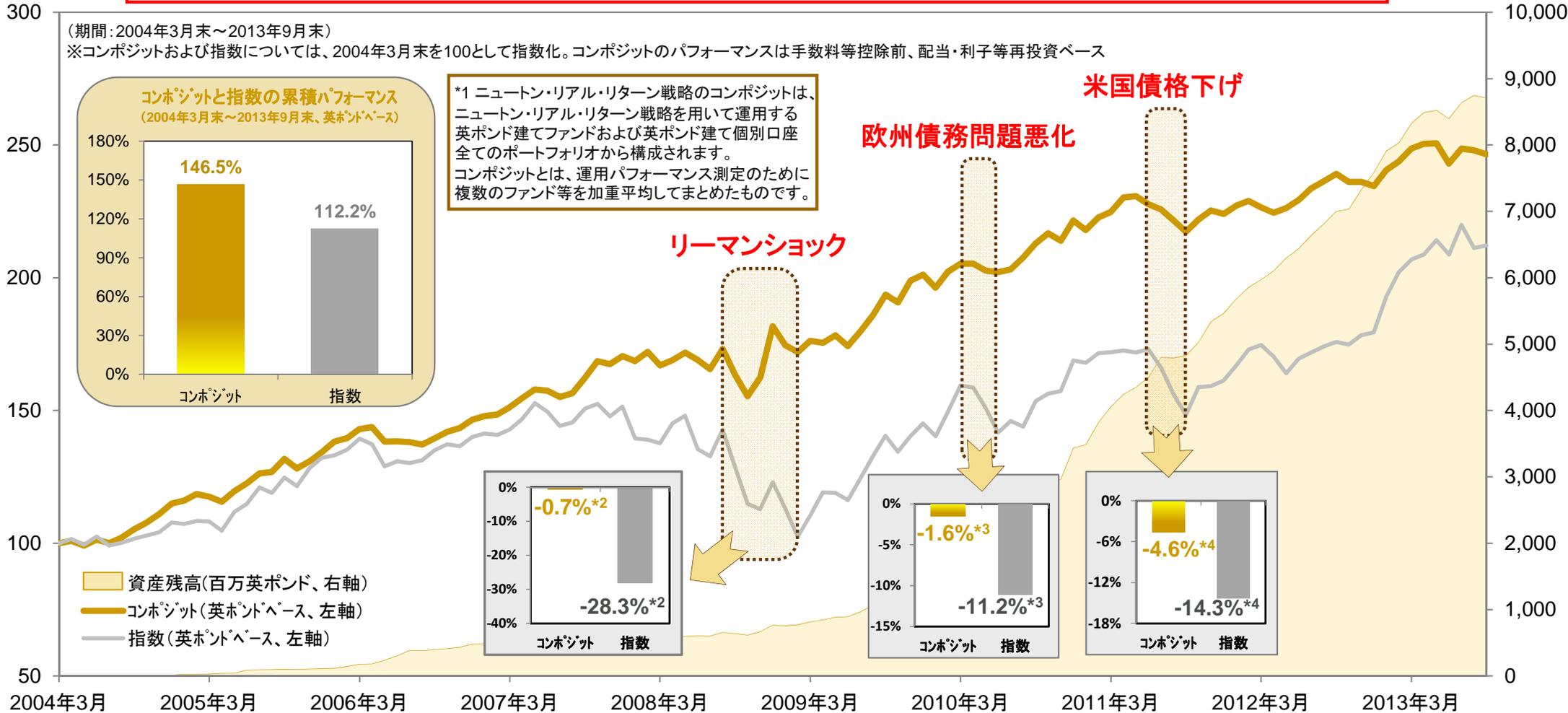
ご参考: コンポジット*1の運用実績および資産残高

BNYメロン・リアル・リターン・ファンド
Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

リーマンショックなどの金融危機時においても 下落リスクを低減し、指数を上回るリターンを獲得

下記はニュートン・リアル・リターン戦略のコンポジット*1のパフォーマンスを表しています。当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、下記はあくまでコンポジットの運用実績であり、当ファンドの将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。

(百万英ポンド)



指数: MSCIワールド指数(配当込み、英ポンドベース)

*2 2008年8月末~2009年2月末、*3 2010年3月末~6月末、*4 2011年6月末~9月末の各リターン(月次ベース)

出所: ニュートン、ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

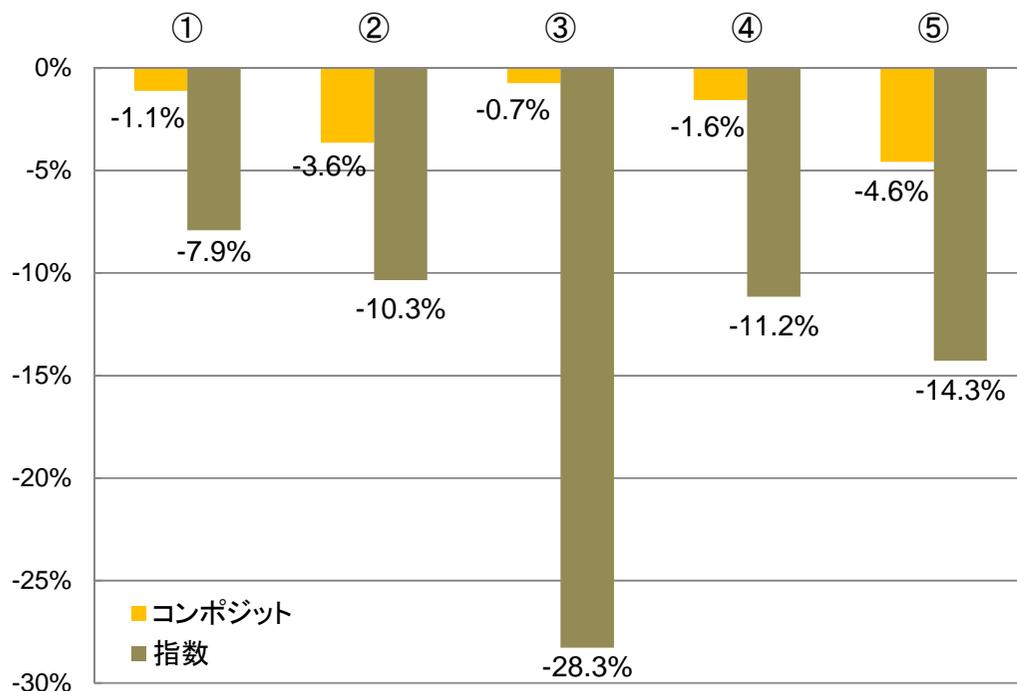
過去の世界株式の下落局面におけるパフォーマンス

BNYメロン・リアル・リターン・ファンド
Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

2004年3月以降の様々な株式市場の下落局面においても 対指数での下落リスクを低減

下記はニュートン・リアル・リターン戦略のコンポジットのパフォーマンスを表しています。当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、下記はあくまでコンポジットの運用実績であり、当ファンドの将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。

過去の株式下落局面のパフォーマンス(月次ベース)



下落のきっかけとなった出来事

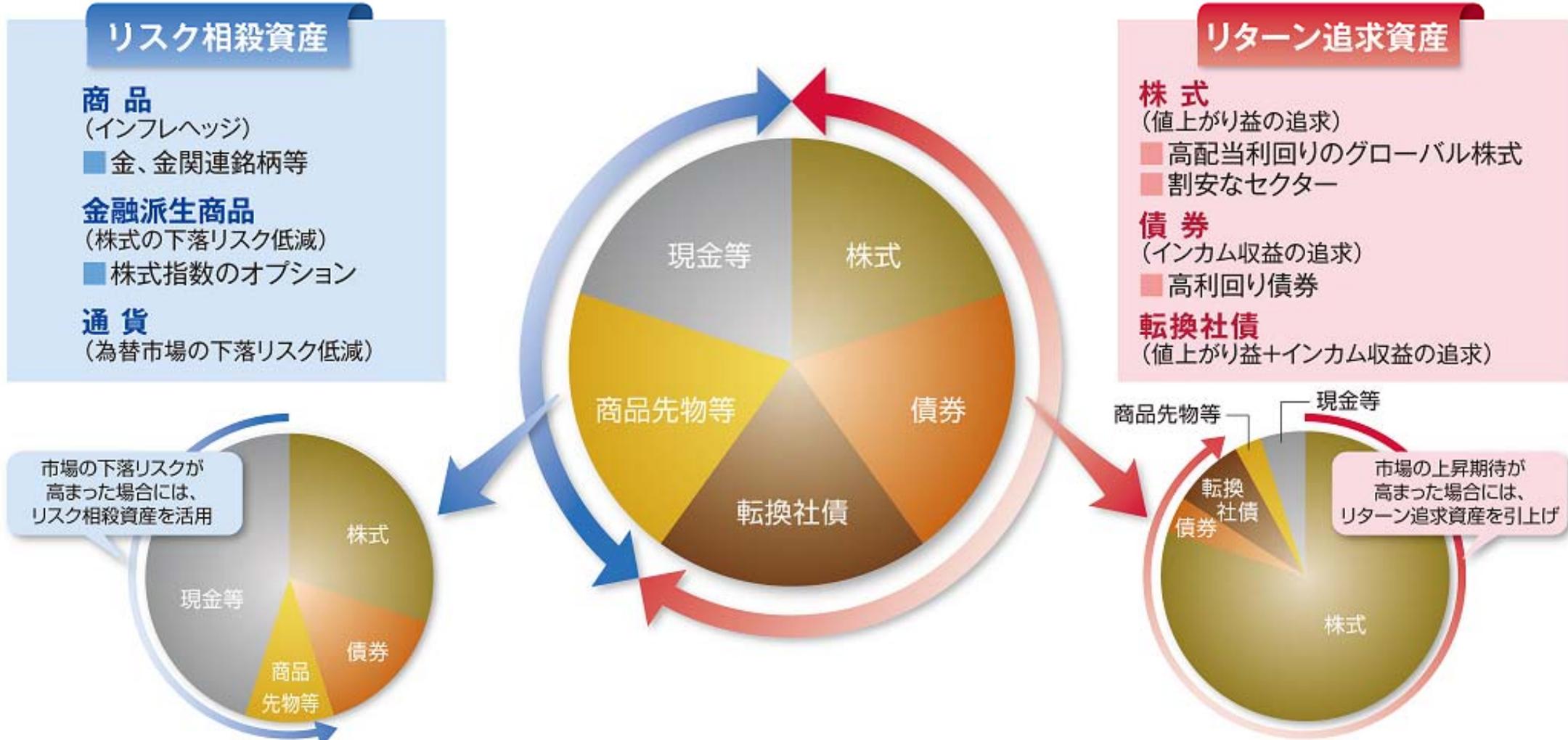
- ① 2007年12月末～2008年1月末
金融機関に対する業績不安(英国金融機関ロイヤル・バンク・オブ・スコットランドの赤字見通し等)
- ② 2008年5月末～2008年7月末
米格付け会社ムーディーズがサブプライム住宅ローン担保証券(RMBS)を大量格下げ
- ③ 2008年8月末～2009年2月末
リーマンショック
- ④ 2010年3月末～2010年6月末
欧州債務問題悪化
- ⑤ 2011年6月末～2011年9月末
米国債格下げ

指数: MSCIワールド指数(配当込み、英ポンドベース)

出所: ニュートン、ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※上記は過去の実績であり、将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。

リターン追求資産とリスク相殺資産をカバーした 幅広い資産クラスに投資

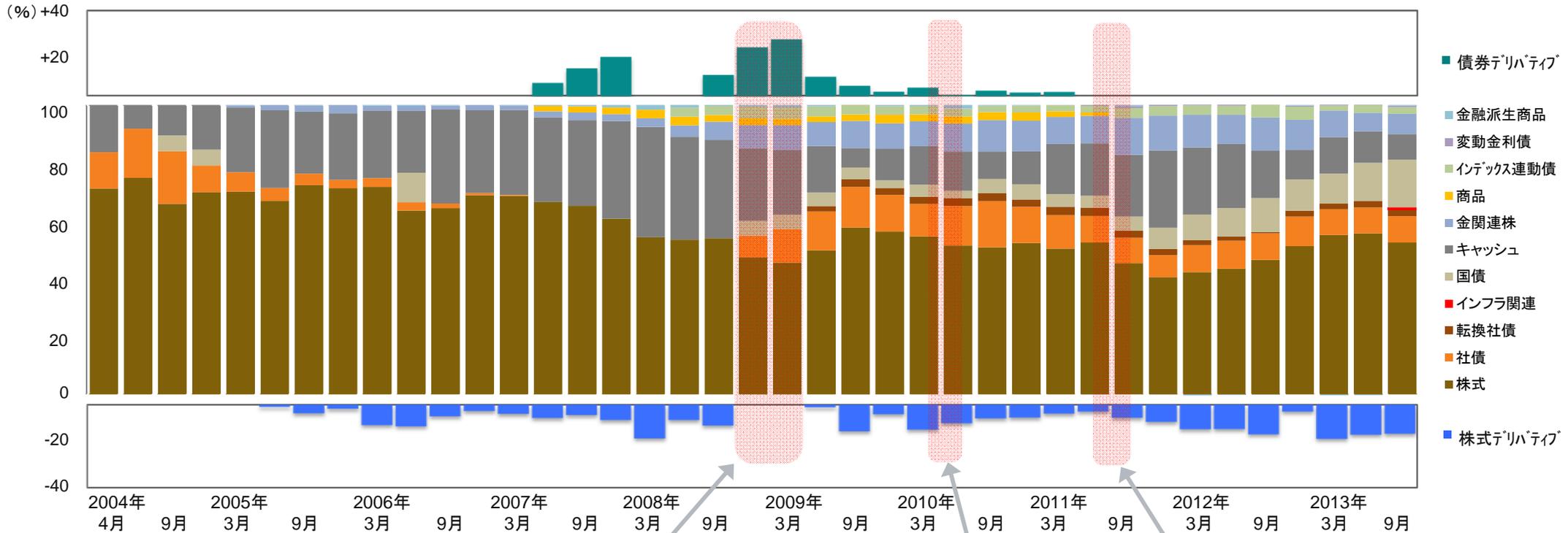


※上記はニュートン・リアル・リターン戦略の資産配分をイメージしたもので、ファンドの実際の資産配分ではありません。上記は投資戦略に関する説明の一部であり、すべてを網羅したものではありません。「リターン追求資産」「リスク相殺資産」と定義づけられる資産は、資金動向、市場動向等によって変化します。また、将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。資金動向、市場動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

安定運用を実現する機動的な資産配分

下記はニュートン・リアル・リターン戦略のコンポジットのパフォーマンスを表しています。当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、下記はあくまでコンポジットの運用実績であり、当ファンドの将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。

ニュートン・リアル・リターン戦略の資産配分推移 (2004年3月末～2013年9月末、四半期ベース)



① リーマンショック
世界的な景気後退懸念が高まる中、株式比率を低位に維持しつつ、債券(国債、社債、デリバティブ)の比率を引上げ。

② 欧州債務問題悪化
ギリシャの財政問題悪化などで不透明感が強まる中、株式ヘッジを維持するとともに、金関連株の比率を引上げ。

③ 米国価格下げ
世界的な景気後退懸念が高まる中、株式比率を引下げ、キャッシュ比率を引上げ。

各金融危機時におけるパフォーマンス	①	②	③
コンポジット指数	-0.7%*1	-1.6%*2	-4.6%*3
MSCI世界指数	-28.3%*1	-11.2%*2	-14.3%*3

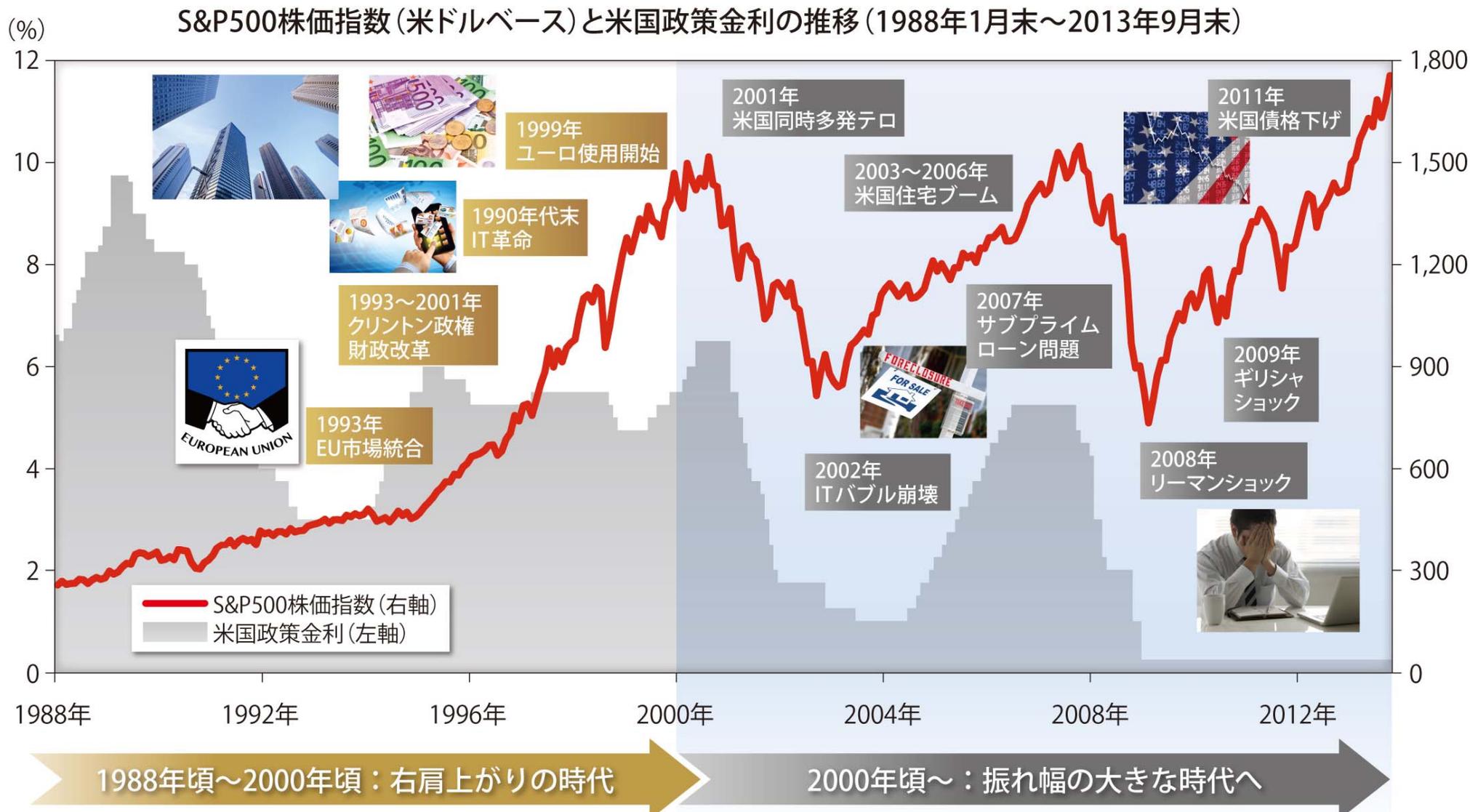
指数: MSCIワールド指数(配当込み、英ポンドベース)*1 2008年8月末～2009年2月末、*2 2010年3月末～6月末、*3 2011年6月末～9月末の各リターン(月次ベース)

出所: ニュートン、ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

右肩上がりの時代から振れ幅の大きな時代へ

2000年以前と以後では運用環境が大きく変化しており、リーマンショック以降、市場は長期にわたり継続的にリターンを上げにくく、短時間で変動する環境に移行しています。



ニュートンの「リアル・リターン戦略」とは

BNYメロン・リアル・リターン・ファンド
Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

2008年の金融危機時に指数を大きく上回る実績を挙げた 英国屈指の投資戦略

■ 振れ幅の大きな時代に求められる新たな投資戦略

リーマンショック以降の振れ幅の大きな時代には、株式の下落リスクを抑え、変動性が高い市場に対応できる新たな投資戦略が必要です。

ニュートンは資産配分の変更やリスク調整面で高い柔軟性を持つ投資戦略により、市場調整時に対応できる機動的な資産配分の実現を目指します。

■ ニュートンの旗艦ファンド

リアル・リターン戦略の中核となる「ニュートン・リアル・リターン・ファンド」は英国で高い評価を受けるニュートンの旗艦ファンドです。

2013年9月末時点におけるニュートン・リアル・リターン戦略の運用資産残高は、ドル建て、ユーロ建て、ポンド建てファンド等の合計で約1兆6,000億円*1であり、欧州でも屈指の規模となっています。

■ 絶対収益型ファンドとして欧州でトップクラスの販売額

欧州における2012年の絶対収益型ファンド販売額ランキングで、ニュートン・リアル・リターン・ファンドは第2位*2となっています。

■ 暦年ベース運用実績は、運用開始以来すべてプラス

リアル・リターン戦略コンポジットの暦年ベース運用実績は、2004年3月の運用開始以来、すべてプラスリターンとなっています。

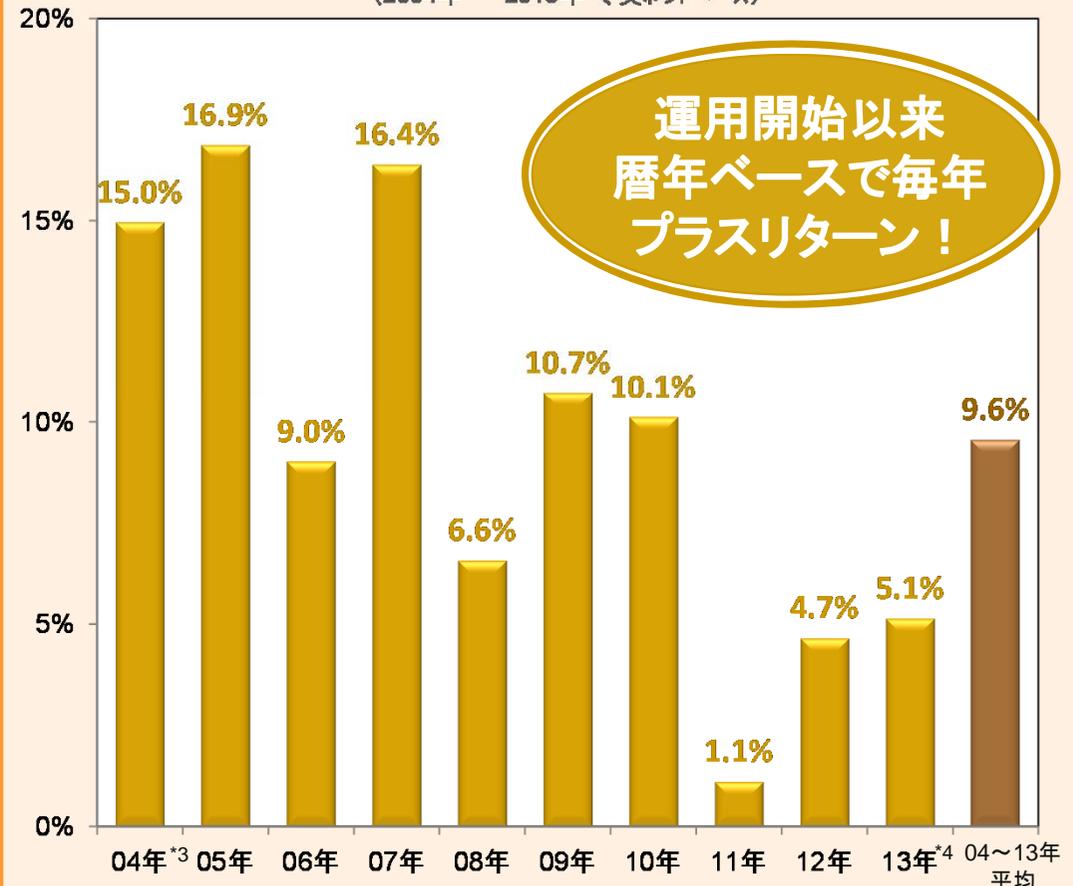
*1 当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドの類似戦略で運用するドル建て、ユーロ建て、ポンド建てファンド等の合計です。

*2 トムソン・ロイターによるユーロピアン・ファンド・マーケット・レビュー2013年版のデータ
出所: ニュートン、ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

下記はニュートン・リアル・リターン戦略のコンポジットのパフォーマンスを表しています。当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、下記はあくまでコンポジットの運用実績であり、当ファンドの将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。

ニュートン・リアル・リターン戦略の暦年パフォーマンス
(2004年*3~2013年*4、英ポンドベース)



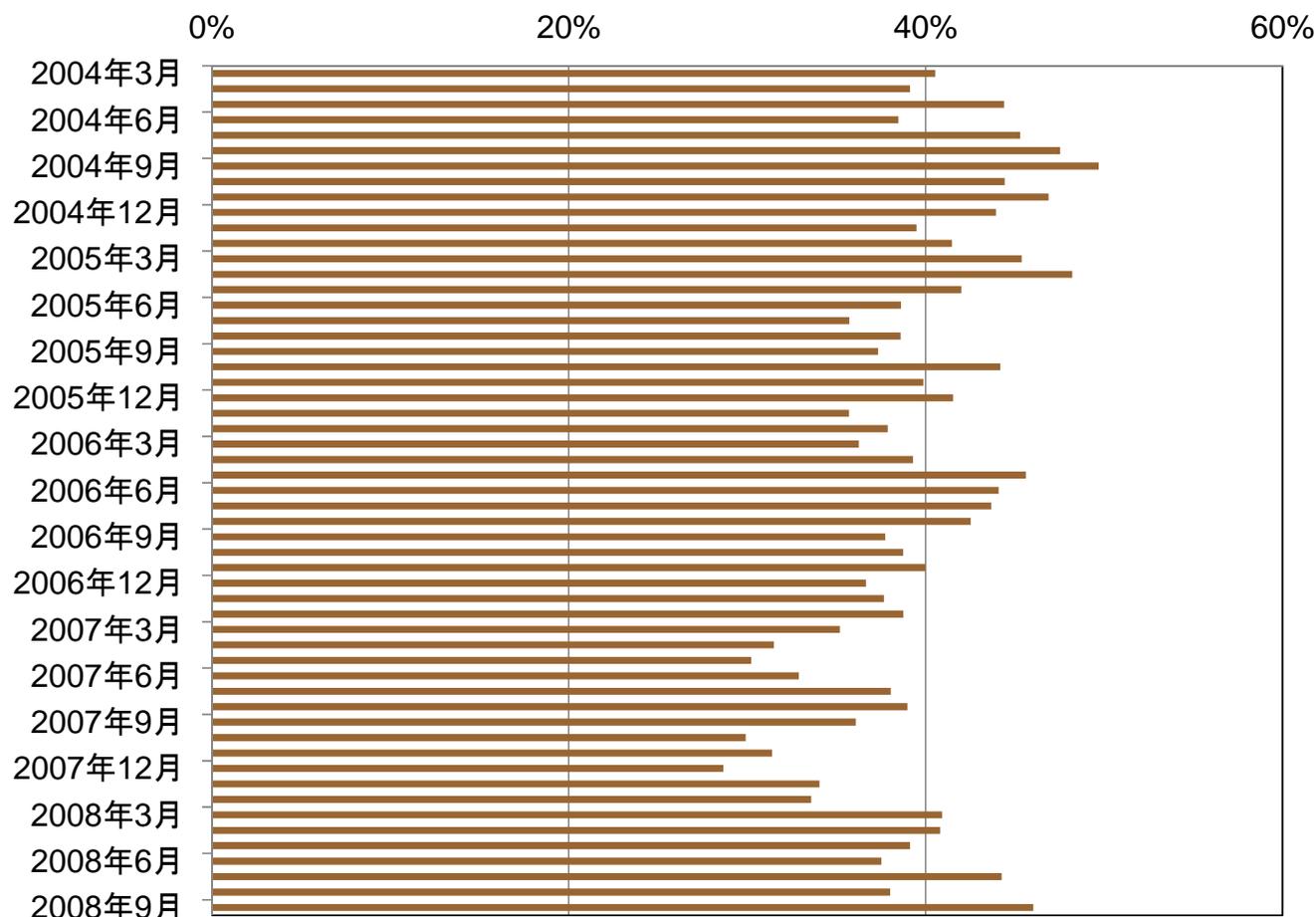
*3 2004年は3月末~12月末 *4 2013年は9月末までのリターン

「ニュートン・リアル・リターン戦略」で 5年間運用したと仮定した場合のリターン

BNYメロン・リアル・リターン・ファンド
Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

2004年3月～2008年9月に投資を開始した場合、 開始時期に関わらず、安定的に20%超のリターンを達成

ニュートン・リアル・リターン戦略で5年間運用したと仮定した場合の累積リターン*
(円ヘッジベース、2004年3月末～2008年9月末)



左記はニュートン・リアル・リターン戦略のコンポジットのパフォーマンスを表しています。当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、左記はあくまでコンポジットの運用実績であり、当ファンドの将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。

*2004年3月末から2013年9月末の月次データを基に、5年間保有した場合の累積リターンです。5年間にわたり資産を保有したと仮定し、各基準月でどの程度のリターンが得られたかをシミュレーションしています。

円ヘッジは、英ポンド1ヶ月Libor-日本円1ヶ月Liborから計算されるヘッジコストを英ポンド建てリターンから控除して算出しています。

出所:ニュートン、ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

最大リターン 49.7%
(2004年9月末～2009年9月末)

最小リターン 28.6%
(2007年12月末～2012年12月末)

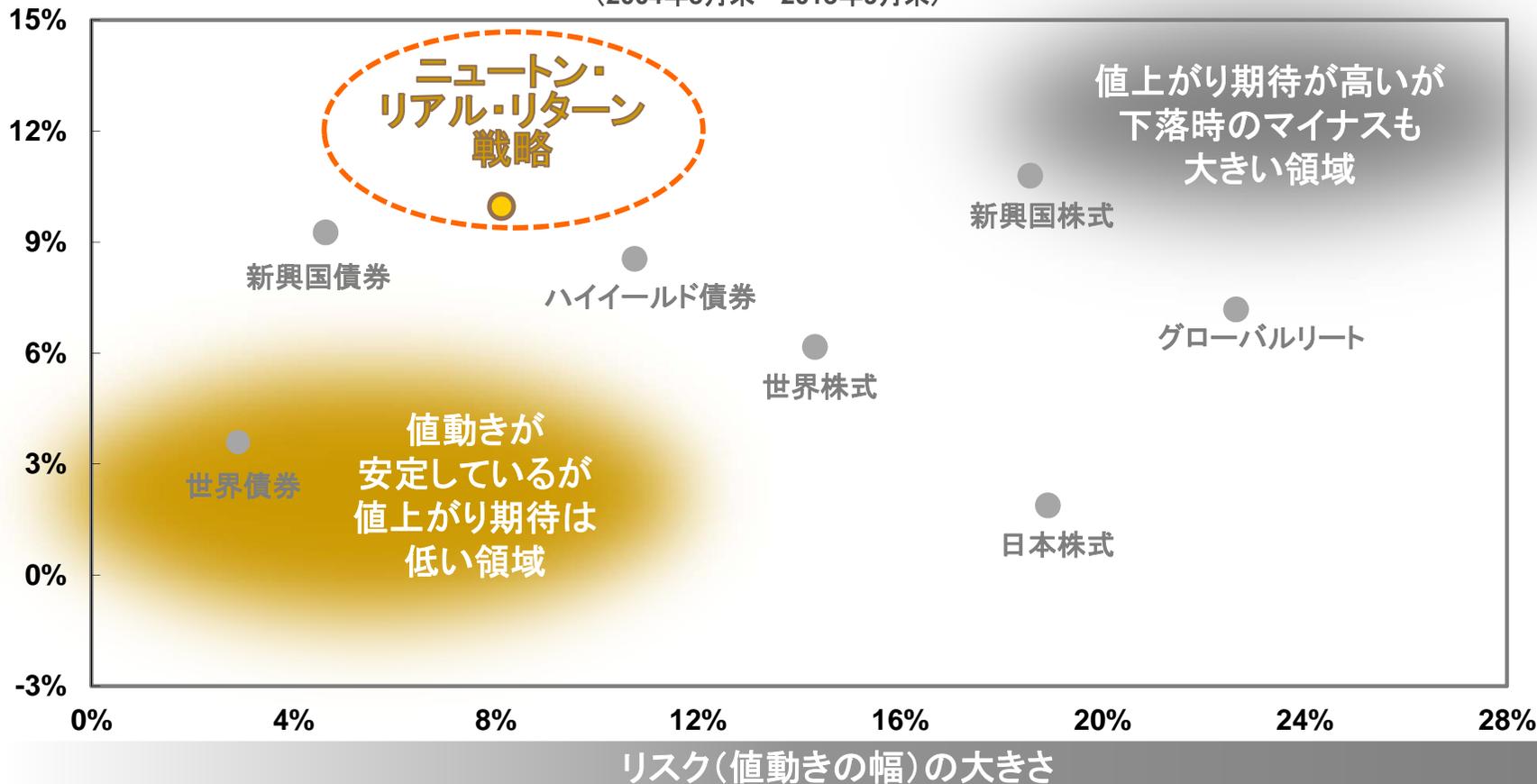
平均値 39.5%

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

世界株式やハイイールド債券よりも低いリスクで 高いリターンを示すニュートン・リアル・リターン戦略

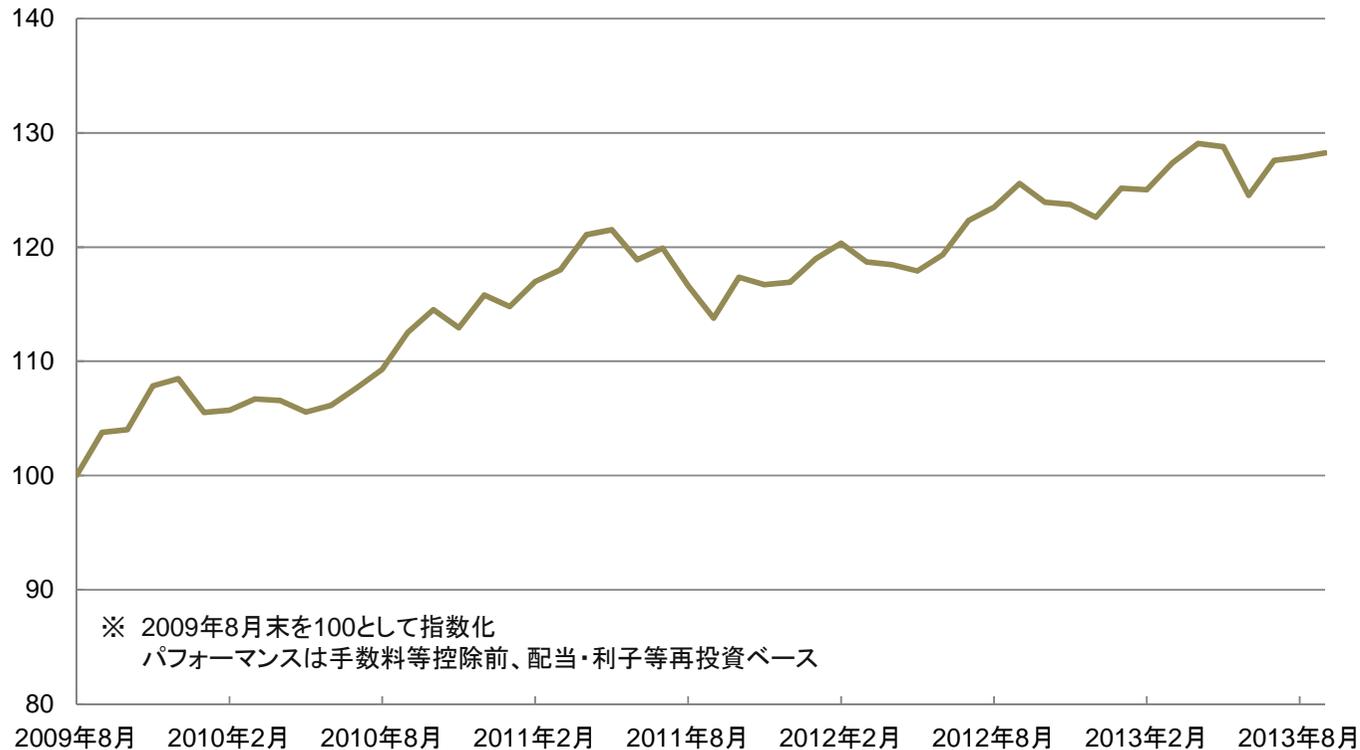
下記はニュートン・リアル・リターン戦略のコンポジットのパフォーマンスを表しています。当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、下記はあくまでコンポジットの運用実績であり、当ファンドの将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。

ニュートン・リアル・リターン戦略と各資産クラスの年率リスクリターン(現地通貨ベース)
(2004年3月末~2013年9月末)



ご参考: 主要投資対象ファンドの運用実績

BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(USD Xクラス)のパフォーマンス
(2009年8月末~2013年9月末)



	2009年8月末 ~2013年9月末
累計リターン	28.2%
リターン ^{*1} (年率)	6.3%
リスク ^{*2} (年率)	5.9%
リターン/リスク ^{*3}	1.1

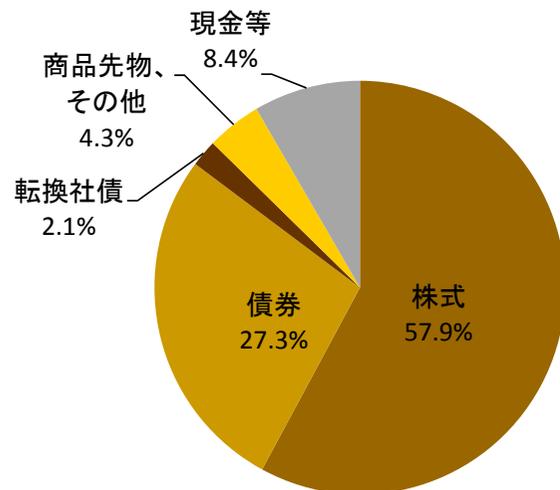
- *1 投資を行うことで得られる収益のことを指します。
- *2 リターン(収益)の振れ幅のことを指します。
- *3 リスクに対しどれだけのリターンを得たのかを示す、リスク調整後リターンの代表的な指標です。

出所: ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

ご参考：主要投資対象ファンドの資産配分等

■ ポートフォリオの資産配分(2013年10月末時点)

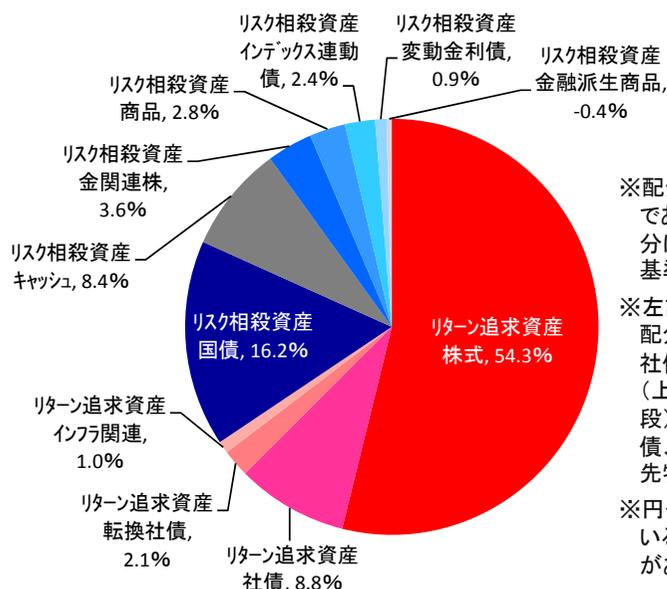


※左円グラフおよび下段円グラフは、投資対象ファンドのBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(米ドル建て)の10月末時点のデータを基に作成したものです。

※各配分は投資対象ファンドのBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(米ドル建て)の資産合計を100として各資産の比率を算出したものです。

※円グラフは小数点以下第2位を四捨五入しているため、足し合わせても100にならないことがあります。

■ ご参考：リターン追求資産とリスク相殺資産の配分比率(2013年10月末時点)



※配分比率は、当ファンドの実質的な運用会社であるニュートンの判断による一定の資産区分に基づいた参考値です。なお、資産区分の基準は今後変更となる可能性があります。

※左記のリターン追求資産とリスク相殺資産の配分比率の10月末基準の円グラフにおける、社債、国債、インデックス連動債は資産配分(上段)の債券に、金関連株は資産配分(上段)の株式に、インフラ関連、商品、変動金利債、金融派生商品は資産配分(上段)の商品先物、その他にそれぞれ含まれます。

※円グラフは小数点以下第2位を四捨五入しているため、足し合わせても100にならないことがあります。

■ 株式の国別配分 (%)

北米	16.4
欧州(除く英国)	23.2
英国	14.4
日本	1.7
アジア・パシフィック(日本除く)	1.6
その他	0.5
株式合計	57.9

■ 債券の国別配分 (%)

米国	12.0
英国	2.3
欧州(除く英国)	7.6
アジア・パシフィック(日本除く)	5.5
その他	0.0
債券合計	27.3

■ 通貨配分 (%)

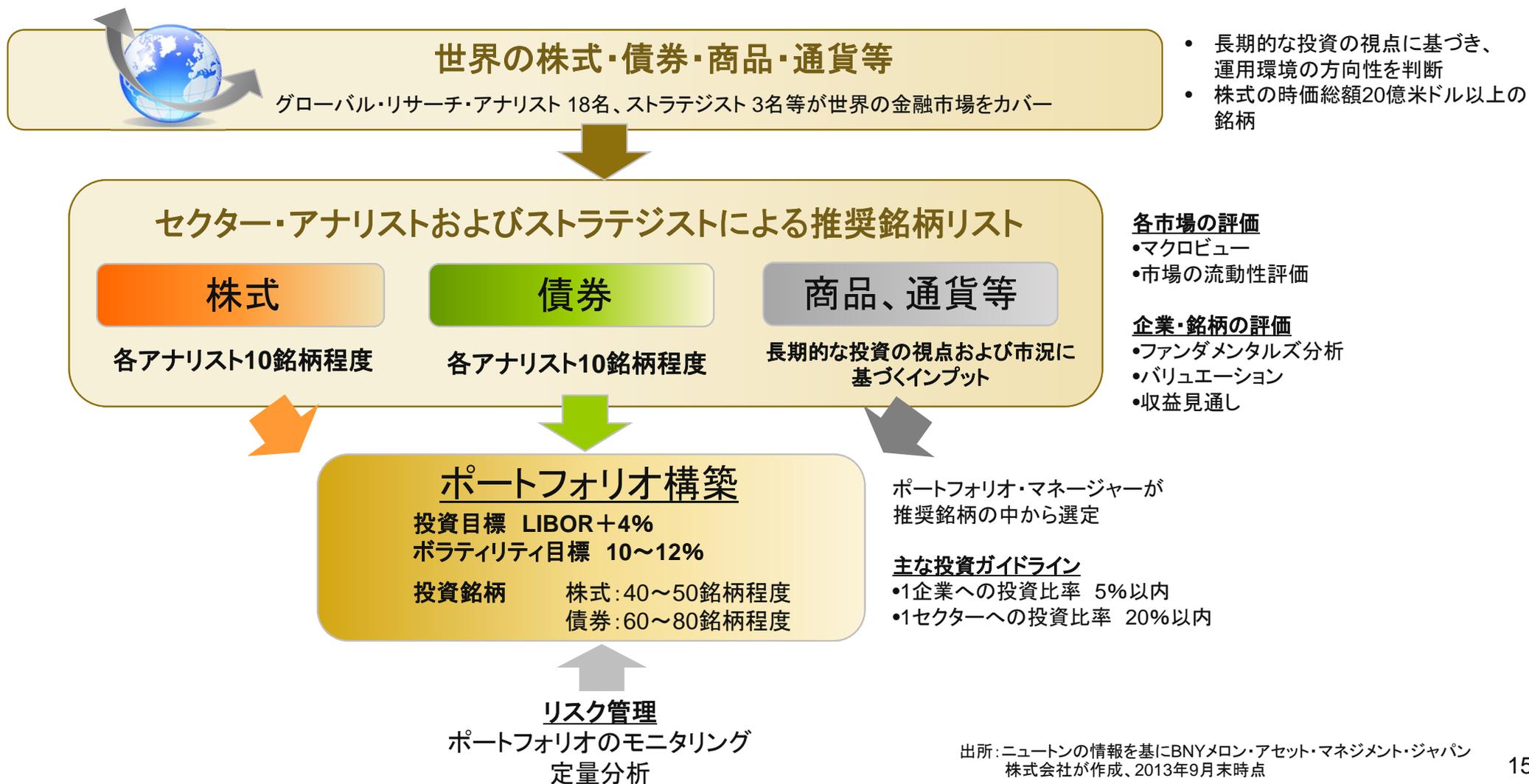
米ドル	103.4
アジア・パシフィック通貨(日本円除く)	4.5
欧州通貨(除くユーロ、英国)	0.6
英ポンド	-3.7
日本円	0.2
その他	-0.3
ユーロ	-4.6
通貨合計	100.0

※配分表は、投資対象ファンドのBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(米ドル建て)の10月末時点のデータを基に作成したものです。

※配分表は小数点以下第2位を四捨五入しているため、足し合わせても、合計に一致しないことがあります。

※配分表は投資対象ファンドのBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(米ドル建て)の資産合計を100として各資産および通貨の比率を算出したものです。

- 長期的な投資の視点に基づき、アナリストがグローバルな見地から魅力的な銘柄を推奨します。
- アナリストの推奨銘柄リストを基に、ポートフォリオ・マネージャーが更に銘柄を厳選し、最終的なポートフォリオを構築します。
- 独立したリスク管理セクションが様々な角度からファンドのリスクを監視し、ポートフォリオのモニタリングを行います。



ニュートン・インベストメント・マネジメントのご紹介

BNYメロン・リアル・リターン・ファンド
Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

BNYメロン・グループ傘下の運用会社、ニュートン

- ニュートンはBNYメロン・グループ傘下の運用会社で、グローバルなマルチ・アセット、株式、債券のスペシャリストです。
- ニュートンの総運用資産はリーマンショック後も順調に増加しており、2013年9月末時点で824億米ドル(約8兆円*)となっています。



ニュートン本社があるロンドン
※写真はニュートンとは関係ありません。

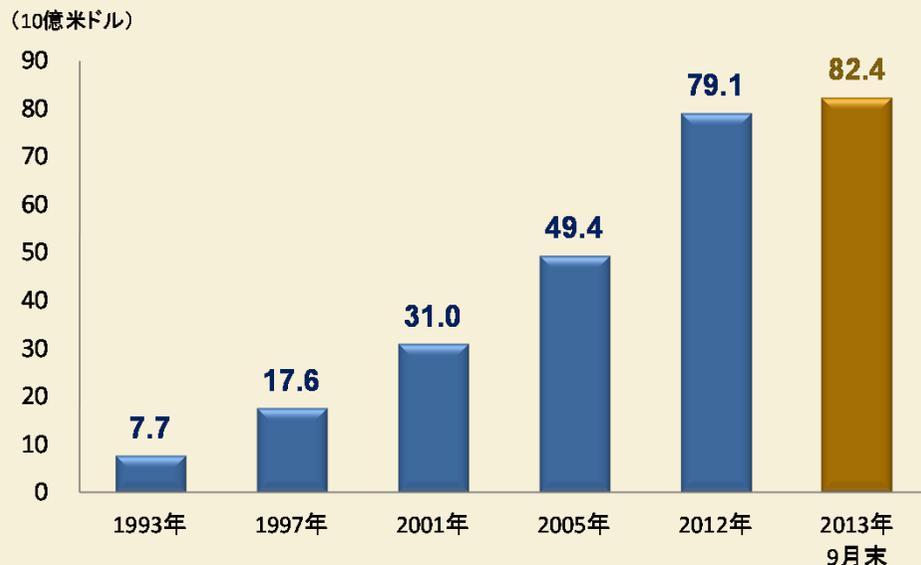
グローバルなマルチ・アセット、株式、債券のスペシャリストとして高い評価

- ニュートンは欧州で高い評価を受けており、フィナンシャル・タイムズなど著名な経済紙や年金基金から「ファンド・マネージャー・オブ・ザ・イヤー」など数々の賞を受賞しています。



受賞式でのニュートン運用チーム

受託資産残高推移



*プライベート運用部門の残高を含む。円換算は2013年9月末時点の為替レート(1米ドル=97.75円)で換算
出所:ニュートン

ニュートンの受賞歴

2006、2007、2008年

フィナンシャル・ニュース紙
株式マネージャー・オブ・ザ・イヤー



2010年

ペンションズ・アンド・インベストメント誌
資産運用部門 優秀マネージャー



2010年

英国年金基金
株式マネージャー・オブ・ザ・イヤー



2009、2010年

フィナンシャル・タイムズ紙
慈善基金ベスト・ウェルス・マネージャー



2010年

グローバル・インベスター誌
欧州株式優秀マネージャー



2008、2009、2011年

インベストメント・ウィーク誌
ファンド・マネージャー・オブ・ザ・イヤー



2011年

リップラー・ファンド・アワード(英国)
優秀絶対リターン型ファンド



2012年

ポートフォリオ・アドバイザー・アワード(英国)
優秀絶対リターン型ファンド

出所:ニュートン

※上記受賞歴はニュートンの過去一定期間の実績に対するものであり、ニュートン・リアル・リターン戦略とは直接関係ありません。また、将来の運用成果等を保証または示唆するものではありません。

お申込みメモ ①

- 当初信託設定日 2013年3月22日
- 決算日 毎年3月17日(休業日の場合は翌営業日)
- 購入単位 販売会社が定める単位(収益分配金を再投資する場合は1口の整数倍とします。) ※「Aコース(為替ヘッジあり)」、「Bコース(為替ヘッジなし)」共に「一般コース」および「自動継続投資コース」があります。なお、当初お申込みいただいた「一般コース」または「自動継続投資コース」の変更はできません。詳しくは、販売会社までお問い合わせください。
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。
- 購入代金 販売会社が定める期日までにお支払いください。
- 換金単位 販売会社が定める単位
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
- 換金代金 換金申込受付日から起算して6営業日目より、申込みの販売会社でお支払いします。
- 購入・換金
申込不可日 ダブリンまたはニューヨークの証券取引所の休場日もしくはダブリンまたはニューヨークの銀行の休業日
ならびに委託会社が別途定める日
- 申込締切時間 営業日の午後3時まで販売会社が受付けた分を当日の申込み分とします。

お申込みメモ ②

- 購入の申込期間
2013年3月22日～2014年6月17日
※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。
- 換金制限
信託財産の資金管理を円滑に行うため、委託会社の判断により、大口のご換金の場合には制限を設けさせていただく場合があります。
- 購入・換金申込受付中止および取消し
金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は、受益権の購入(スイッチングによる購入を含みます。)・換金の申込みの受付けを中止することおよびすでに受付けた申込みの受付けを取消す場合があります。
- 信託期間
2023年3月17日まで
※委託会社は、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、信託期間を延長することができます。
- 繰上償還
各ファンドそれぞれの受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合等には、繰上償還することがあります。主要投資対象とする外国投資信託が存続しないことになった場合には、償還となります。
- 収益分配
毎決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。
※「自動継続投資コース」の場合、収益分配金は税引き後再投資されます。詳しくは、販売会社までお問い合わせください。
- 課税関係
課税上は、株式投資信託として取扱われます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。(2014年1月1日以降)
少額投資非課税制度の適用について、詳しくは、販売会社までお問い合わせください。
益金不算入制度、配当控除の適用はありません。

お客様にご負担いただく費用

BNYメロン・リアル・リターン・ファンド
Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

直接的にご負担いただく費用

■購入時手数料

3.15%*(税抜 3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を、購入申込受付日の翌営業日の基準価額乗じて得た額となります。

※自動継続投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合は、申込手数料はかかりません。

*消費税率が8%になった場合には**3.24%**となります。

■信託財産留保額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.3%**の率を乗じて得た額とします。

信託財産で間接的にご負担いただく費用

■運用管理費用(信託報酬)

毎日、信託財産の純資産総額に**年1.33875%*(税抜 1.275%)**の率を乗じて得た額とします。

運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6ヵ月の終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われます。運用管理費用(信託報酬)の配分は、右記のとおりです。(2013年12月20日現在)

*消費税率が8%になった場合には、**年1.377%**となります。なお、右記の配分も相当分上がります。

合計	年1.33875%*(税抜1.275%)
(委託会社)	年0.47250%(税抜0.450%)
(販売会社)	年0.84000%(税抜0.800%)
(受託会社)	年0.02625%(税抜0.025%)

■投資対象とする投資信託証券の管理報酬等

・BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(USD Xクラス)・・・純資産総額に対して年率0.45%程度

・BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)・・・純資産総額に対して年率0.0315%(税抜0.03%)～0.1575%(税抜0.15%)*

*消費税率が8%になった場合には、年率0.0324%(税抜0.03%)～0.162%(税抜0.15%)となります。

■実質的な負担

実質的な信託報酬率は、**年率1.78875%程度(概算)***となります。

※実際の実質的な負担は、投資信託証券の組入状況等に応じて変動します。

*消費税率が8%になった場合には**年率1.827%程度(概算)**となります。

■その他費用・手数料

監査費用、目論見書等の作成、印刷および交付費用ならびに公告費用等の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管費用等が、信託財産より支払われます。

(注)この他に投資対象とする投資信託証券においても上記費用に類する費用がかかります。

◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限額等を表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。

委託会社	BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社(信託財産の運用指図等)
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(ファンドの保管・管理業務等)
販売会社	(ファンドの募集・販売の取扱い等)

ご留意事項

- 当資料は、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成した金商法第13条第5項に規定する目論見書以外のその他の資料です。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。
- 当資料に掲載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに今後変更されることがあります。
- 当資料中のグラフ、数値等は過去のものまたはシミュレーションの結果であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
- 当ファンドに生じた損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。
- 当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

BNY MELTON

